

高 同窓会 だより

岐阜県立
関高等学校同窓会
東京支部

発行者
会長 今井 忠明
編集 広報 禎男
増田 幸恵
浦田 幸恵

関高等学校同窓会に
は武蔵女高卒生
も含まれます。

関高等学校同窓会東京支部 第三十三回東京支部総会及び懇親会開かれる

日時 令和五年六月二十五日
会場 主婦会館プラザエフ
出席者 五十九名

【報告】 当番幹事 三十三回生
青木 和繁



初夏の日差しが眩しい中、6月25日(日)の総勢59名の参加のもと、総会が工藤副会長の開会の辞から始まり、コロナ禍で令和2年、令和3年と中止となり、昨年は規模を縮小しての開催でしたが、本年度は規模を先生方をお招きする事もでき、通常の形で総会・懇親会を行う事ができました。

総会は今井会長の挨拶の後、ご来賓の武田校長先生より、関高校の近況などをご紹介頂き、浅野同窓会本部会長から同窓会本部の活動内容や各地区の活動状況などをご紹介頂きました。総会議事は令和4年度活動報告、令和4年度収支決算報告、同会計監査報告、令和5年度活動計画案、令和5年度予算案がそれぞれ担当役員から報告され、承認されました。最後に松井副会長の閉会の挨拶で総会を締め上げて頂き、懇親会へと移行しました。

懇親会は恩師・高崎和夫先生の楽しいご挨拶と乾杯のご発声で始まり、各テーブルにはおいしい料理とお酒が運ばれ、和やかな雰囲気の中で、歓談頂きました。この歓談時間を挟んで、ご出席頂いた恩師の先生方、ご来賓からご挨拶頂きました。今回、同窓会にお招きした恩師は当番幹事を務める33

第33回 関高等学校同窓会・東京支部 【総会・懇親会】

(日時) 令和5年6月25日(日) (会場) 主婦会館プラザエフ

総会・懇親会 式次第

総会の部

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1 開会 | 司会進行 佐田喜明 総務(25回生) |
| 2 開会の辞 | 工藤喜代佳 副会長(23回生) |
| 3 東京支部会長挨拶 | 今井忠明 会長(18回生) |
| 4 ご来賓の紹介 | 今井忠明 会長 |
| 関高等学校校長 | 武田 理 先生 |
| 本部同窓会 | 会長: 浅野欽一郎 様、顧問: 堀部哲夫 様 |
| 恩 師 | 高崎和夫 先生、伊藤誠剛 先生 |
| 本部同窓会事務局 | 林 直樹 先生 |
| 5 ご来賓挨拶 | |
| 関高等学校校長 | 武田 理 先生 |
| 関高等学校同窓会会長 | 浅野欽一郎 様 |
| 6 議長選出 | |
| 7 議事 | |
| 第1号議案 | 令和4年度活動報告の件 神谷哲朗 総務(25回生) |
| 第2号議案 | 令和4年度収支決算報告の件 阿部隆代 会計(22回生) |
| 会計監査報告 | 田中早苗 会計監査(19回生) |
| 第3号議案 | 令和5年度活動計画(案)の件 神谷哲朗 総務 |
| 第4号議案 | 令和5年度予算(案)の件 阿部隆代 会計 |
| 8 議長解任 | |
| 9 閉会の辞 | 松井勲 副会長(27回生) |

懇親会の部

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 開会 | 司会 天野知恵美(33回生) |
| 2 開会の辞 | 青木和繁(33回生) |
| 3 乾杯 | 高崎和夫 先生(恩師) |
| ～ 歓談 ～ (DVD放映: 関高校・関市の様子/各テーブル毎に記念写真撮影) | |
| 4 ご来賓挨拶 | 堀部哲夫 様(本部: 顧問) |
| | 伊藤誠剛 先生(恩師) |
| | 林 直樹 先生(本部: 事務局) |
| ～ 歓談 ～ | |
| 5 お楽しみ会(ビンゴゲーム) | 33回生(進行: 青木和繁) |
| ～ 歓談 ～ | |
| 6 次年度への引き継ぎ | 33回生幹事から34回生幹事の皆様へ |
| 7 校歌斉唱 | 関高等学校校歌 全員(指揮: 三品貴仙・43回生) |
| 8 締め(万歳三唱) | 関高等学校同窓会顧問: 堀部哲夫 様 |
| 9 閉会の辞 | 33回生 |

回生が高校時代にお世話になった高崎和夫先生(数学科)、伊藤誠剛先生(体育科)と33回生の同期であり、現在も関高校で教鞭をとられている林直樹先生(社会科)の3名でした。(ご出席予定であった川崎先生、大嶋先生は諸事情のため、残念ながら今回はご欠席となりました。)伊藤先生からは先生の地元・白川町の特産品である「1合枰」が参加者全員にプレゼントされ、ご挨拶の中でその「枰」の紹介もして頂き、日本の枰の生産の8割が岐阜県である、という事を教えて頂きました。林先生からは関高校の生徒たちが部活動などを通して、いろんな場面で活躍していることを紹介頂き、ますます「文武両道」に磨きがかかっている関高校に大きな拍手が沸き上がりました。

本年度の懇親会では4年ぶりに「ビン

ゴ大会」も復活し、関市から取り寄せた名産品を巡って、大いに盛り上がりました。懇親会も終わりの時間が近づき、次の当番幹事である34回生に同窓会旗の引継ぎが行われ、次いで43回生の三品君の指揮による校歌斉唱、同窓会本部堀部顧問による締めのご挨拶と万歳三唱が行われ、第33回東京支部総会・懇親会は無事閉幕となりました。

最後に、まだ、完全にコロナが終息した訳ではありませんが、無事、総会・懇親会を開催することができたのも、今井会長をはじめとする役員の皆様のご協力とご尽力のおかげだと一緒に当番幹事を行った天野共々、本当に感謝申し上げます。来期も皆様と元氣にお会いできることを祈念しております。

ご挨拶と祝辞

今年はいよいよ楽しい
同窓会に！東京支部 会長
今井 忠明

皆さんこんにちは、18回生の今井でございます。本日は東京支部同窓会によるこのお集まりでございました。ご来賓の皆様には、ご多用の中、遠方より、母校の校長先生はじめ、同窓会本部の役員の皆様、そして恩師の先生方にご出席頂き、誠に有難うございました。

そして東京支部会員の皆様には、コロナ規制が緩和されたとはいえ、53名という、予想した以上の多数の皆様にご出席頂きました。特にご年配の皆様には、このように多くの方にご参加頂いたことが非常に嬉しく心より感謝申し上げます。

また、本日の同窓会に当りまして、役員、当番幹事の皆様には、昨年から会議を重ねて参り、昨日、本日も早朝からご準備頂きました。本当に有難うございました。

さて、今年の東京支部同窓会、懇親会はどうするかを検討してきました。昨年は3年振りに開催しましたが、コロナ感染予防策を第一に考え、同窓会の内容を絞って実施し、お陰様で無事に開催できました。今年はいよいよ皆様に楽しんで頂くこと、懇親会の会食も色を添え、また「お楽しみ会」も復活させました。どうぞご期待し、大いに楽しんで下さい。

結びになりますが、東京支部の今後について、皆様にお願ひがあります。東京支部同窓会は昨年、先輩たちの成果をもとに「30周年記念誌」を発行することが出来ましたが、支部同窓会で、毎年このような同窓会を、年配から若手まで集って行っているのは全国的にも極めて少なく、貴重な存在です。この東京支部同窓会がこの先も維持できるように大切にしたいものです。それは、現状当面大きな課題があります。それは、ですが、この先急激に減少すること、

そして最近では役員をやって頂ける方、また当番幹事をやって頂ける方が、非常に少なく、現状でも欠員が多く、運営が困難になってきていることです。本日ご参集の皆様方にはこの問題を念頭において、何か良い知恵がないかご検討頂き、改善策などのご意見を寄せて頂ければ幸いです。今後ともご協力、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

進取 至誠 練磨

関高等学校 校長
武田 理

皆さん、こんにちは、本年度から関高等学校の校長を務めております武田理と申します。また、ご紹介いただきまして誠にありがとうございます。私自身は平成5年から15年まで高校の教職として2校目になるまで、関高校に11年間勤務させていただきました。関高校で私の教育のベースを育てていただいた学校だと思っております。

また、このたびは関高に来る前の3年間は、関高工で校長をしておりまして、関高生の姿を割と近いところで、かつと見ており、関市内の中であるとか、いろいろなところで、関高の生徒が活躍している姿を見ておりました。今年からこちらでお世話になりました。生き生きとした姿にたくさん触れることができて、とても楽しい毎日を送っております。

先日、林直樹先生から連絡が来て、ネットのニュースでこういうものがあつて、それが何かという、東海、関西地方の社会人が選ぶ優秀な生徒が多いという岐阜県の公立高校ランキングで2位は関高校という見出しがあったんですね。1位は、もう多分ほとんどの方があそこだろうと思うところなので、我々教員も本当に嬉しい思いを

しました。

これはもちろん今日はお集まりの皆様方をはじめOB・OGの方々、そして今の生徒たちが築き上げてきた関高の姿を表すような形で評価されたのは非常に嬉しく思っております。このニュースに職員たちも勇気づけられておるんですけれども、実際、その中には、こういう風に書いてありました。「文部科学省により、グローバルリーディング育成に取り組みむ学校としてスーパードグロバールハイスクールに選定、並びに岐阜県教育委員会から地域共創フラッグシップハイスクールにも選定される、生徒が地域から世界を考えたようにする教育を展開しています。」という言葉が付け加えられています。皆さんの作ってきた関高校が本当にこういう形で確認していただけたらいいんじゃないかなと思います。

生徒たちにも、入学式の始業式で、校風である進取、至誠、練磨というのを、改めて紹介しながら、みんなが何事にも進んで取り組んで、真心を持って行動して、そして自分を鍛えるという姿を、関高生全員で築こうということ、これを改めて話をしていたわけですが、けれども、非常にたくさんいい姿で頑張ってくれております。

また、関にお越しいただける機会があったら、学校を覗いてやってくださる。地元でも、生徒たちは本当に元気に、上を向いて頑張っております。それと、とても嬉しく思っておりますし、その礎を築いてくださった皆さんに、今日、お会いできて、非常に嬉しく思っております。

総会・同窓会を
是非盛り上げて
いただきたい！

同窓会本部 会長
浅野 欽一郎

同窓会本部 会長
浅野 欽一郎

皆さん、こんにちは、関高同窓会の本部の方から来てさせていただきます。会長を務めさせていただきます。29回生、剣道部卒の浅野です。東京支部の総会には、昨年に続いて2回目ということで、皆さんにお会いさせていたいただきます。私も東京に出てくるのは、あれ以来1年ぶりです。ので、懐かしいなと思いつながら、お邪魔をさせていただきます。

今、今井会長さんの方からお話がありましたが、コロナの関係で、なかなか同窓会の活動がままならないという時期が続いておりました。本部の方の同窓会も還暦を迎える2学年が幹事となって、総会の後に同窓会を兼ねてやっております。それで、平成の最後の頃に、私たち29回生と1期上の先輩である28回生とが一緒に総会と懇親会をやらせていただいた後にコロナが始まりまして、その次の30回生と31回生が総会をやる計画が3年ぐらいいずれでした。

この最近では、やるぞやるぞって言うて、案内を出して、会場も全部押さえて、出席を取った後に、第何波でちよつとやめときましようみたいなことが、2回ほど続きましたが、先日、やつと同窓会・総会と懇親会をやることができました。久しぶりに皆さんとお会いしたりとか、それから、同級生の皆さんが、会場で、歓談をしたり、最後に記念写真を撮ってもらったり、最後の表情が、やつぱりすごく素敵だった。なつていう印象を持っております。そういう意味では、東京支部の皆さんも、ふるさとから離れて暮らしてらっしゃいますが、こういう同窓会から、関高の同窓生という絆と、それから、先程、校長先生がお話いただいた現役の高校生たちの応援をする一つの交流の場として、是非盛り上げていただきたいと思います。是非盛り上げて、何より、久しぶりに皆さんとお会いできたのが、本当に嬉しく思っております。

今日は、きちんと総会をやつていただいて、また、存分に飲ましてもらおうかなと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

ただ今、ご紹介を受けました高崎でございます。ご挨拶と乾杯ということでありまして、話を始めるためちやうと喋りますのが私の癖であります。3分という制約がございますので、簡単に済ませたいと思います。

野球部が県岐商に勝った時をご存知ですか。回が進むにつれて関高が、勝つんじやないかという雰囲気になり、村井監督に「おい、俺のほつべた、ちよつとつねつてくれよ」と言いました。勝つてしまいました。関高の生徒は、よく頑張つてくれました。関高日は嬉しくて嬉しくて、あの時は本当に嬉しかった。

今日は、岐阜から東京へ来る間に、タバコを吸う場所がなくて、やめようかと思ひますが、こんな年になってやめようかと思ひますかと思つてゐます。関の刃物会社の社長さんと葉巻をくわえながら、懇談をやつたりしました。それから、出来のいい生徒がいなくて懇談で、お母さんに学校の力ではもういふなんともなりません。その生徒は、成績が普通の生徒よりかなり上回つておりました。彼がこんなことを書いていたのを覚えております。関高では、私のあとに東大に来るものはおらんやろうと書いていました。ただ、その後も東大に進学する生徒がおりますし、関高も本当に良くなつたと思つております。こんな話で失礼いたします。それから、もうひとつ私が子供頃の頃、学校の先生に、戦争はお前が、大人になつたらなくなるだろつと、そんな話を聞いて、そのうちに戦争や内紛がなくなると思つて、今までのつとや生活してきまつた。本当に戦争のない国や世界にしたいと思ひます。皆さんの力で頑張つてほしいと思ひます。

それでは、僭越ながら、乾杯の音頭を執らせていただきます。関高校の益々の発展と、同窓会東京支部の発展、そしてここにお集まりになる皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、乾杯をしたいと思います。皆様、ご唱和願ひます。乾杯。



本日は、恩師ということでお招きに預かりましてありがとうございます。今日、来させてもらうにあたり、手土産という形で、皆さんに披露したいのは、先週、東海地区の高校柔道大会が行われました。我が関高校柔道部は、男子団体の部で出場しました。先ほど校長先生の方から、東海、関西地方の社会人が選ぶ優秀な生徒が多いと思う岐阜県の公立高校ランキングで非常に優秀な素晴らしい評判を頂いておるということでした。生徒が本当に、今有名な野球の大谷選手ではないです。が二刀流を見事にこなしていると思っております。そして、私は自信を持って皆さんに披露して、これだけ頑張っておりますよということをお知らせしたいと参りました。

もう一つ、今日ここに柗を用意させてもらいました、今井会長とは2年生、3年生と同じクラスでした。関市から遠く越境入学ですが、実家が非常に近いところです。この柗の説明書を読んでいただくと東濃柗を使用しているという書いてあります、今井会長の出身地は加子母で、今の中津川市加子母です。その周辺で採れる木は東濃柗というて、伊勢神宮の式年遷宮の時に必ずその柗を使って御木曳で伊勢神宮まで持っていきます。その柗を使った物で今回持つてきました。皆様の前に柗の入った袋がありますが、私がA4の紙に印刷して折りました。

高校3年の時は岐阜国体でしたので、柔道で国体に出場することをめざして稽古に励みました。また、関高校に12年間教員として勤務しました。その中で一番力になったのは、教え子や卒業生の方が頑張っているの、それが今の私の力であると思っております。



もう一つだけ、私の在学中から、そして関高校に教員として着任したときから思っておる中で、出席のすべての方に話題として出てきて欲しいのは強歩大会です。これは69回を持つ

てなくありました。非常に体育の教員として
は残念であります。100周年の時にまだ
やつてゐる所を調べてみると、埼玉県立浦
高校で、体育主任の方と話が出来ました。浦
高校は1963年に始めてからずっと現
在までやつてゐます。関高校もそれにほ
びあつたわけですが、是非そういうこと
を復活させるということは無理かも知
りませんが、こういう会ときには是非
強歩大会の話題を出して頂けるとありが
たいと思つております。



皆さん、こんにちは、同窓会本部の顧問という立場で、今日出席させて頂いております掘部でございます。100周年が終わりまして、関高校同窓会の役員を引退させて頂き顧問をさせて頂いております。

東京支部には、ちょうど90周年終わった時から、同窓会の役員をさせて頂きまして、コロナ禍で中止の時以外、全て出席させて頂いております。今年で多分11・12回目になるかと思えます。私が、本部同窓会の会長をやりました時に、東京支部を見習って、名古屋や大阪の方で支部を立ち上げようというところで、随分と骨を折りました。東海支部という格好で、名古屋を中心に、50・60・70・80・90・100の各年代を機に、約7・8年頑張って頂きましたが、なかなか続かなないうこととで終わってしまいました。ご努力がいろいろありますが、大事な会だと思っております。特に、関高の伝統というものをこのように作っていったということは、こういった地道な活動が非常に大事だと思っております。是非とも今後とも、続けて頂きますようにお願いをしたいと思っております。

100周年の後ですが、岐阜では、関高の100周年が話題というが、大きなインパクトを与えております。関高100周年を見られた他の学校が100周年のあり方には、このようになければいけないというようなこととで、関高を見習って次やりたいというようなお話があちこちで出ております。大変素晴らしい100周年を皆様のおかげでできたことには大変感謝を申し上げます。これからも、東京支部の会員がますます増えます。



こんにちは、本部の事務局から参りました林と申します。例年、ご招待いただきましてありがとうございます。今、司会をやっています天野さんや青木さんと同じ33回生で還暦を迎えました。

私は、今年3月に定年退職で関高とは離れるのかなと思っていましたら、また再任用で勤務することになり、今年で15年目になりました。長い間、母校で勤務できたことをありがたく思っております。

今日のご挨拶ですが、先ほど学校長の方から、ネットニュースの話がございました。ネットニュースの中に出てまいりましたお話は生徒の皆さん、大変勉強頑張っていて、この春も、東大、京大、あるいは、岐阜大学とかか、に進学して大変優秀な成績を岐していますし、部活も勉強時間の関係もあってできないところを柔道も頑張っていますし、陸上も頑張っていますし、女子バスケットボールは3大会連続関高のベスト8に入っています。部活も非常に頑張っている中で、最近の関高校の傾向として、探求活動という形で、関市あるいは周辺の市や町の街づくりに参加しているということですね。だいたい生徒の1割強が実際に街に出て、ボランティアとか、いろんなイベントの企画とかをやっています。大変ありがたいことで、周辺の皆様も協力してくださいますし、最近、だんだん生徒の勢がヒートアップしてきました、私が保南ですけれど、私を飛び越えて街の方々といろんな企画をして、あとから私に連絡があります。例えば、シングルマザーのお母さんたちの集まりに行くと、子供たちの勉強の面倒を見たという遊び相手になったりとか、あるいは、言葉の不自由な人たちと一緒に音楽のイベントを企画して、生徒が開催したりしています。我々の高校生のころとは随分違ってきてお受け止めてくださるという、そんな今の関高に学校の姿になっていることをご報告させていただきます。ただきましてご挨拶とさせていただきます。

◆第33回関高等学校同窓会東京支部 総会と懇親会◆



主婦会館プラザエフ



今井会長 挨拶



総会司会 25回生 佐田さん



受付にて感染予防策の検温、消毒



会場風景



総会 開会の辞 議長
工藤副会長



総会 閉会の辞 松井副会長



懇親会司会 33回生 天野さん



乾杯の音頭 高崎和夫先生



懇親会 開会の辞
33回生 青木さん

9マスのビンゴカード



4年振りにビンゴゲームが復活しました！



景品 (関の名産品)

お楽しみ会
ビンゴゲーム

◆ 第33回関高等学校同窓会東京支部 総会と懇親会 ◆



今回 当番幹事
33回生 青木さん 天野さん



引継ぎ式 33回生から34回生へ



次回 当番幹事
34回生 水口さん 奥田さん 原さん



校歌斉唱 43回生 三品さん



万歳三唱 同窓会本部 堀部顧問

～人生100年時代を元気にフレイル対策～

まだまだ、皆さまの力が必要です！

東京大学高齢社会総合研究機構
学術専門職員 神谷哲朗（25回生）



活躍する同窓生近況（その1）

神谷さんには令和元年の同窓会で、『百歳時代到来～人生二幕目が面白い～』という題で講演して頂きましたが、今回はその第二弾の「人生100年時代を元気にフレイル対策」を寄稿して頂きました。

人生100歳時代を迎えた今、我が国の高齢化は世界に比類なき速度で進行し、この2025年には2,200万人超の後期高齢者からなる超高齢社会、25年後の2050年には人口9,500万人、高齢化率約40%（85歳以上人口は約1,000万人を推移）に達することが推測されています。

明治以降、経済、食生活改善、医療技術等の発展によって国民の平均寿命が延伸する中、多くの高齢者層は漠然と介護のことは考えつつも、まったくのんきにしています。日本はたいへんな状況に変化しつつあることの自覚を多くの方々に持って頂きたいと思っております。地域のつながりが希薄となっていることや高齢者のみの世帯が増加していることなどから、高齢者の健康、高齢者の見守りや手助け、高齢者の移動手段などの課題が様々な地域で浮き彫りとなってきていることをです。

一方で70歳代を超えた高齢者の中には健康で活力もあり地域発展や社会貢献のため活動される市民の方が多数おられます。これらの市民の方々の力を社会の中で活かすことが重要で、皆が力を合わせて地域社会全体で高齢者の生活を支える仕組みづくりが必要です。

こういった背景の中で、2015年に東京大学高齢社会総合研究機構が開発した地域住民による「社会参加、食、運動の3つの柱」を基にした高齢者のフレイル予防活動（健康長寿のまちづくり活動）は、今、全国の自治体から注目を頂いており、数多くの自治体で取組まれるようになって参りました。フレイル予防は高齢者の日常生活を維持することが目的ですので、小売店などの生活活動を担う様々な民間事業者の協力も大変重要な役割になって参ります。また、地域が一体となってこの問題に取り組めば高齢者の見守りや困りごとなどへの手助けや、生活支援、高齢者の移動手段確保など身近な課題に対しても組織的な対応ができると考えております。

急速に迫る超高齢・人口減少社会を迎えている今、取り組まねばならないのは医療や介護の分野での限りある公的資源も念頭に置き、高齢期において元氣な段階からできる限り心身の自立の維持を目指すことにあります。そのためには、近年提唱された新たな概念、「フレイル予防」を国民が十分に理解し、地域の団体や住民活動が一体となって各地で展開される新たな「まちづくり」として成長していくこと、そして地域や人のつながりの大切さを次の世代に繋いでいくことも私たち多世代が交流する同窓の超高齢社会における役割や使命の一つにもなってきたと思います。

第33回 同窓会各テーブル毎出席者記念写真



東京支部会長・相談役と
ご来賓と皆さん

<桜ヶ丘>

【後列左から】

林 直 樹 本部
浅野 欽一郎 本部
堀 部 哲夫 本部

【前列左から】

今井 忠明 会長
武 田 理 校長
垣下 智洋 相談役

高7～9回生の皆さん

<安桜山>

【後列左から】

田中 三郎 高7
丹羽 保明 高7
田口 慶恵 高9
田口 美男 高8

【前列左から】

藪下 隆男 高7
浅野 コトカ 高7
早川 多津子 高7



高9回生・高33回生の皆さん

<孫六>

【後列左から】

天野 知恵美 高33
青木 和繁 高33

【前列左から】

酒 向 安武 高9
齊 藤 剛 高9
田口 慶恵 高9
山田 銑次 高9

高12～15回生の皆さん

<中池>

【後列左から】

剣 路 幸 高15
川島 惇男 高15
川村 憲利 高14

【前列左から】

吉田 祥子 高15
大平 進一 高12
(中 座)
福元 久恵 高13



第33回 同窓会各テーブル毎出席者記念写真



伊藤先生と
高17～19回生の皆さん

<長良川>

【後列左から】

後藤 良信 高19
橋 詰 静男 高17
田中 早苗 高19
佐藤 幹治 高18

【前列左から】

中田喜代司 高19
伊藤 誠剛 恩師
長谷部芳男 高19

高20～23回生の皆さん

<三本杉>

【後列左から】

佐藤 誠治 高23
工藤喜代佳 高23
金子 三郎 高23
藪下 修 高20
長谷部政行 高20

【前列左から】

阿部 隆代 高22
山田 公二 高20



高24～25回生の皆さん

<春日>

【後列左から】

佐田 喜朗 高25
村上実智世 高24
増田 禎男 高24

【前列左から】

神谷 哲朗 高25
塚原 勝 高25

高26～30回生の皆さん

<津保川>

【後列左から】

疋田 郁雄 高28
堀江 正久 高26
松井 勲 高27

【前列左から】

山田香代子 高30
中園 美紀 高30



第33回 同窓会各テーブル毎出席者記念写真



高崎先生と
高31～32回生の皆さん

<善光寺>

【後列左から】

小原 琢哉 高31
船戸 文英 高32
楠 亮 高32

【前列左から】

高崎 和夫 恩師
家田 佳樹 高32

高34～43回生の皆さん

<小瀬>

【後列左から】

奥田 成人 高34
水口 賀雄 高34
原 ひろみ 高34

【前列左から】

三品 貴仙 高43
角 泰人 高38
林 謙一 高38



第33回 関高校同窓会東京支部 総会・懇親会 出席者一覧表

高校23	高校22	高校20	高校20	高校19	高校19	高校19	高校18	高校18	高校17	高校15	高校15	高校15	高校14	高校13	高校12	高校9	高校9	高校9	高校8	高校7	高校7	高校7	高校7	高校7			
金子三郎	阿部隆代	山田公二	藪下修	長谷部政行	中田喜代司	長谷部芳男	田中早苗	後藤良信	佐藤幹治	今井忠明	橋詰静男	吉田祥子	剣路幸	川島惇男	垣下智洋	福元憲利	大平進一	山田銑次	田口慶恵	酒向安武	齋藤剛	田口美男	藪下隆男	早川夢津子	丹羽保明	田中三郎	浅野コトカ

卒業回生 会員名

本部会長	本部顧問	事務局	恩師	恩師	校長
浅野欽一郎	堀部哲夫	林直樹	伊藤誠剛	高崎和夫	武田理

御来賓 御氏名

同窓生のみならず、クラスメイトの御兄弟や出身中学校の先輩・後輩とも、お会いできる場です。来年も多数の皆様の御出席をお待ちしております。



出席者五九名

高校43	高校38	高校38	高校34	高校34	高校34	高校33	高校33	高校32	高校32	高校32	高校31	高校30	高校30	高校28	高校27	高校26	高校25	高校25	高校25	高校24	高校24	高校23	高校23
三品貴仙	林謙一	角泰人	水口賀雄	原ひろみ	奥田成人	天野知恵美	青木和繁	船戸文英	楠亮	家田佳樹	小原琢哉	中園美紀	山田香代子	正田郁雄	松井正久	堀江勝	塚原喜朗	佐田哲朗	神谷智世	村上美智	増田禎男	佐藤誠治	工藤喜代佳

同窓会東京支部 ホームページ ご案内 (<http://sekikou-tokyo.com/>)

“関高同窓会東京支部”で検索下さい

◆過去数年の「同窓会だより」も掲載しておりますので、是非閲覧下さい。



合計三十九名	大川典榮	角泰人	船戸文英	楠一朗	山口香代子	山田郁雄	疋田正久	堀江勝	塚原哲朗	神谷禎男	増田	一氏名
--------	------	-----	------	-----	-------	------	------	-----	------	------	----	-----

今回の同窓生自慢は古田淳さん (52回生)

古田淳さんは多種多様な方です。どんな人か？ フルタジュン @furutaJun 脚本家、演出家。
劇団フルタ丸主宰、合同会社エンピツ代表。

皆様ご存じの「関高100周年記念式典」。あの時の司会に驚かされたと思います。あの斬新な発想と流れ。講師の神田京子さんの軽妙な司会を覚えてますか。

岐阜県立武儀高等学校・岐阜県立関高等学校
創立100周年 記念式典



あれは古田淳さんが企画演出されたものなんです。

本部同窓会の堀部哲夫様がこれまでに

ない式典にしたいということで古田淳さんに声が掛かったとのことです。古田淳さんが式典の全体構成を考え、その中で同郷の神田京子さんに依頼することを発案し、関高の100周年の歴史を講談調にのせて見せていくという演出を考えたとのことです。記念事業のタイムラインの企画、卒業生インタビューなども古田淳さんの発案です。

活躍する同窓生近況 (その2)



古田淳(フルタジュン)

代表/脚本家/演出家/役者

生年月日:1981. 6. 4

出身地:岐阜県美濃市

岐阜県立関高等学校・第52回(2000年)卒業
明治大学在学中にTBSラジオJUNK『さまぁ〜ずの逆にアレだろ!!』の構成作家として作家活動を開始。2002年に劇団フルタ丸を旗揚げし、以降全作品の作・演出を担当。劇作家・演出家としてカルティエの実店舗で起きる演劇型ジュエリーショー、スタンダップコメディ、声優による朗読劇まで幅広い分野で活躍中。講師・神田伯山氏の講談を通して興味を持ち、講談という演芸を活かした表現をしたいと考えていたところに100周年記念式典の話を頂いたとのことでした。

※去る7月に行われた「劇団フルタ丸」の新作公演【柗目街交差点】を鑑賞してきました。演劇と講談の融合、ワクワク

して観てきました。11月に第二弾の公演を準備中の古田淳さんに以下直接語って頂きました。皆様も是非ご期待を！



フルタ丸講談 Vol.2 『八百長入門』

日時:2023年11月29日(水)~12月2日(土)

場所:シアター711(下北沢)

作・演出:フルタジュン

出演:真帆・篠原友紀・大勝かおり・仁山貴恵

日下麻彩・上田のりこ・寺田晴名

webサイト <http://bit.ly/45cORBi>

<作品について>

講談+現代劇で描くフルタ丸講談の第二弾は、プロ野球選手の妻たちによる建て前と本音が渦巻く八百長合戦！

<古田淳からのコメント>

はじめまして。52回生の古田淳です。

実家は美濃市でリンゴの木という洋菓子店を営んでおりました。自分は東京で劇団を主宰しながら脚本家・演出

家として活動しております。講談という伝統芸能のスタイルを活かした式典を思いついたのが100周年式典の時でした。同郷でもあります講師・神田京子先生との創作は得難い経験となりました。あの式典がきっかけとなり、自分が主宰する劇団フルタ丸でも講談の持つ様式美や外連味と現代劇を掛け合わせた新作公演を始めました。7月末に第一弾『柗目街交差点』を上演し、垣下さんと今井さんにご来場頂きました。ありがとうございました！ 11月末に第二弾『八百長入門』という新作を下北沢で上演いたします。ぜひ同窓生の皆様にもご覧頂きたい、ご興味ございましたら古田までご連絡下さい。(info@furutamaru.com)

「関高100周年記念式典」の演出を見て以来お会いして話を聞きたいと思っていました。
今回7/29の公演に行き念願が叶いました。(インタビュー & 記事:今井)

編集後記

- ◆ 今年の同窓会は、昨年以上のご参加を頂き、関高等学校・同窓会本部からも来賓の皆様をお招きし開催されました。また、お楽しみ会としてビンゴゲームも復活し、より楽しい同窓会となりました。
- ◆ 「同窓会だより」の作成・発送にあたり、役員・当番幹事の方をはじめ多くの方にご協力を頂き、ありがとうございました。また、文字起こしソフト・窓あき封筒等の新しいご提案も頂きました。
- ◆ 今後とも皆様のご協力・ご提案を頂き、来年は、より多くの方に参加頂けるように準備して行きたいと考えます。

(広報 増田禎男)

第34回東京支部同窓会のご案内

- 開催予定日 令和6年6月23日(日)
- 開催場所 主婦会館プラザエフ
- 当番幹事 34回生

来年も会場を主婦会館プラザエフ(四ツ谷)において開催の予定です。
初参加の方も参加して良かったと言って頂けるよう、役員・当番幹事一同、改善工夫して準備していきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
ご案内の詳細は、来年4月頃にお送りする予定です。